

第5回文化施設部会  
(令和8年1月15日)  
における御指摘を踏まえた  
論点整理(素案)の修正について



令和8年3月10日

	カテゴリー	主な意見内容	修正案
1	文化施設の定義、部会での議論の範囲	文化施設の定義の中で、文化的活動も行われうる施設として想定されている図書館等の記載が本文にないので、バリアを超えて考えていることを資料の中にはっきりと示すべき。	注釈に書いていた文化施設の範囲（図書館含む）を本文に移動し、「施策の推進に当たってはこれらの所管省庁・部局とも連携を図る必要がある」旨を注釈に追記しました。（p. 3）
2	施設のカテゴリライズ、多機能化	文化施設の中でもある程度世界標準を目指す施設、地域を活性化するような施設など、設置主体等によって機能分けして考えていく必要がある。	「更に検討を深めるべき事項」の注釈にて、施設の設置者による役割の違いについて一案を注釈にて示しました。（p. 25）
3	官民連携	官と民がどう連携していくのかということが重要。官民連携の好事例について文化庁から発信があるとよい。	「文化施設の可能性を体現している事例」の中で、官民が連携した好事例（大阪中之島美術館、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館）を追記しました。（p. 9）
4		四角囲みで提示されている文化施設が今後目指すべき姿（「文化施設をハブとして「付加価値」の創出」と「地域社会の活性化」の「創造的循環」を形成し、個々人のウェルビーイングの向上に寄与する）について、個々人のウェルビーイングに結論を矮小化させず、文化がどういう国策になるのかを含めて大きな記載とすべき。	文化施設が寄与するものとして、「個々人のウェルビーイングの向上」と並べて「心豊かで活力のある社会の持続可能な発展」を追記しました。（p. 13）
5	文化施設が目指すべき姿、文化の価値の明確化	四角囲みで提示されている文化施設が今後目指すべき姿で示されている「付加価値」とは何の価値によって、現場の実践が変わってくる。	注釈にて、文化芸術の持つ本質的価値及び社会・経済的価値を指すことを明記しました。（p. 13）
		文化施設が果たすべき「5つのミッション」の中で、「調査研究」という言葉を入れてもよいのではないか。	①保存・継承（Conservation）に「調査研究」の文言を追記しました。（p. 15）
6		文化施設に期待される提供価値として列挙されているもので本当にすべてなのか、視野の広がりや価値観の転換など、もう少しエッジが立った、アグレッシブな書き方にしてもいいのではないか。	ご指摘の観点を含めて、全体的に記載を充実させました。（p. 12～13）
7			
8		コンテンツ産業の市場規模は半導体産業などよりも大きく、もっと発展させていくことが必要であることを主張すべき。	「文化施設を取り巻く背景・課題と可能性」の中で、コンテンツ産業の市場規模や、政府の重点戦略分野の一つに掲げられていることを追記しました。（p. 4～5）

	カテゴリー	主な意見内容	修正案
9	事例の共有、横展開	「文化施設の可能性を体現している事例」について、成功した取組の形そのものだけでなく、成功に至る思考のプロセスを共有すべき。	注釈にて、「把握された事例を横展開していくに当たっては、その施設や地域の状況・課題を分析するとともに、成功に至る思考や取組のプロセスを共有する視点も重要となる」ことを追記しました。(p. 8)
10	文化施設のネットワーク連携	ネットワーク連携にあたっては、「ハブ」となる主体についてどのように考えていくのが重要となる。	連携に当たる中核的な主体の考え方について、来年度「我が国における理想の美術館像について」も参照しつつ検討する旨を注釈に追記しました。(p. 25)
11	活動の高度化サイクル、利用者目線、アウトリーチ	「利用者目線」について、商業的な意味で利用者のニーズを満たすというニュアンスに感じられる。既に存在する欲望だけでなく、利用者が新しい目線を獲得することも本来宿るべき意味ではないか。	「(2) 活動の高度化サイクル」を全体的に見直し、ご指摘の観点を追記しました。(p. 19)
12		アウトリーチ強化の文脈で、SNSの活用について書き込むといいのではないか。	「(5) ソーシャルメディア等を通じたアウトリーチ強化」とするとともに、SNSの活用について追記しました。(p. 21)
13	経営視点、資金確保、運営改善	広報的な視点、経営視点をもっと持てるようにすると、より魅力的な施設としてアピールできるのではないか。	「(2) 活動の高度化サイクル」にて、利用者目線で自らの活動を振り返り、体験価値の向上を図ることが記載された図を挿入しました。(p. 20)
14		資金確保の手法の見える化や、自己収入源の多角化の具体策の検討を行うべき。	「(6) 施設の運営改善」において、「文化芸術団体寄付税制ハンドブック」を例示し、文化施設への資金流入を後押しするためのわかりやすい提示を行っていく必要がある旨を追記しました。(p. 22)
15	DXの推進	全体的にデジタルの記載が薄い。	「(7) デジタルアーカイブの作成・活用とDXの推進」とし、全体的に記載を充実させました。(p. 22~23)
16	人材の確保・育成	就職先として魅力ある文化施設にするためには、キャリアプランの明確化や、文化施設自体がどういう人材に来てもらいたいかをきちんと示すことが必要。	「(8) 専門人材の確保・育成」に、要素を追記しました。(p. 23)